

秋祭り

想
い
弾
け
る

受け継がれる伝統

黄金の稲穂がゆれ、山々が赤や黄色に染まる頃、大字ごとに鎮守のお祭りが盛大に開かれます。

地域に生きる人々を永い歴史と共に見守ってきた、鎮守さま。そして人々は、実りの季節を迎えると、一年の無病息災、五穀豊穡を“護り神”に祈ってきた。

これが、いつしかふるさとの伝統となって、今に受け継がれてきたのです。

